



令和4年度

茨城県優良図書紹介【幼児向け】



『よくみると…』 Shimizu 作 (Gakken)

ショートケーキに、クリームソーダに、オムライスに…
みつけた！よくみると、いろんなどうぶつがかくれています。
よくみると、いっぴきだけかわったようすのどうぶつ
も…。よくみて、さがしてみましよう。



『お月さんのシャーベット』

ペク・ヒナ 作、長谷川義史 訳 (ブロンズ新社)

あついよる、ついにおつきさんがとけだした！しずくをあ
つめてできたのは、ひんやりあまーい、おつきさんのシャー
ベット。なんでやろ、あついのがすーっと、とんでいった。あ
つい、あつい、よるの、ふしぎなおはなし。



『まっくろ』 高崎卓馬 作、黒井健 (講談社)

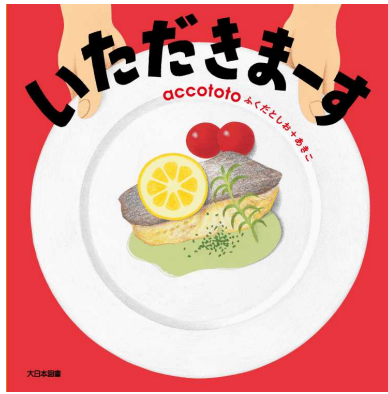
おとこのこは、まいにち、まいにち、ひたすらまっくろく
がようしをぬりつぶします。そのがようしをならべつなげると、
おおきな、おおきなえがかんせいしました。
できあがったのは…。



『あんなに あんなに』

ヨシタケシンスケ 作 (ポプラ社)

あんなにほしがっていたのに、あんなにしんぱいしたのに、あ
んなにちいさかったのに…。たくさんの「あんなに」のなかで、み
んな、おおきくなっていくんですね。



『いただきます』 accototo 作 (大日本図書)

きょうのごはんは、おさかなです。おさかなってどこにいたのかな？ どんなふうに、おおきくなったのかな？おさかながやってきたみちをたどっていきます。ぼくも、おさかなみたいにいっぱいたべておおきくなるね！
いただきますーす！



『スリー』

スティーヴン・マイケル・キング 作、神野三鈴 訳
(イマジネーション・プラス)

いち に さん ワン ツー スリー。まいにちスリーは、スキップしてとびはねて、たのしくすごしていました。あっちへいったり、こっちへいったり、スリーがいくところには、あたらしいおともだちとのであいがありました。3ぼんあしの、しあわせないぬのおはなし。



『おもわず おもわず』 えがしらみちこ 作 (あかね書房)

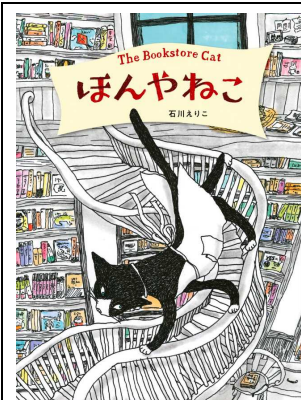
きょうはたのしいおでかけ。フェンスにはのぼっちゃうし、バスのこうしゃボタンはおしたくなるし、おおきなひろばはかけだしたくなっちゃう…。パパとママにもあるのかな？おもわずやっちゃうってこと！



『キリンのなやみごと』

ジョリ・ジョン 作、レイン・スミス 絵、岡野佳 訳 (化学同人)

キリンのエドワードには、くびがながいというなやみがありました。みんなのくびは、いいかんじ。あるひ、カメのサイラスが、エドワードにしかできないことをたのみます。



『ほんやねこ』 石川えりこ 作 (講談社)

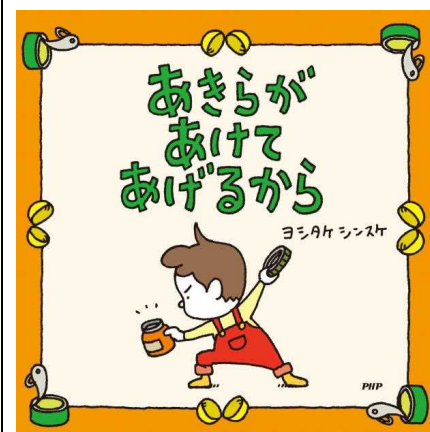
ほんやのまどから、ほんのしゅじんこうたちがそとにかぜにつれていかれてしまいます。ピノキオ、シンデレラ、ラプンツェル…ほんやねこは、ほんのなかからかぜにとばされたみんなをみつけて、ぶじにほんやにもどれるのでしょうか…。



『すいかのたね』

グレッグ・ピゾーリ 作、みやさかひろみ 訳 (こぐま社)

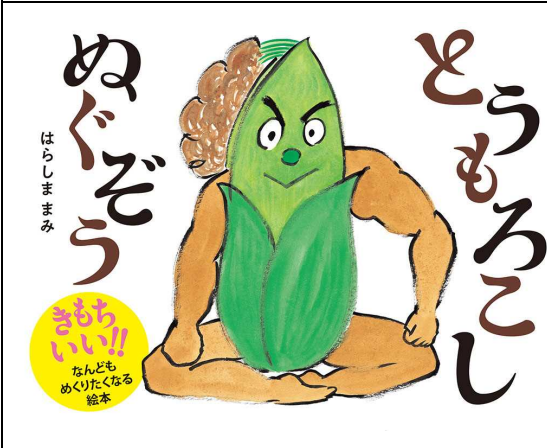
ワニくんはスイカがだいすき。あさ、ひる、ばんごはん、デザート、ぜんぶスイカでもへいきなくらい。「スイカ、さいこう」といつものようにスイカをほおぼると、「ごくん」うっかり、たねをのみこんじゃった。おなかのなかの、すいかのたね。どうなるんだろう…？



『あきらが あけて あげるから』

ヨシタケシンスケ 作 (PHP 研究所)

ボクはまだちっちゃくて、ちからもよわいから、このふくろはあけられないんだ…。でも、もうすこしおおきくなったら、ボクはきっと、なんでもあけられるようになる。じぶんのぶんも、みんなのぶんも、ぜーんぶあけてあげたい。あきらが あけて あげるから！



『とうもろこしぬぐぞう』

はらしままみ 作 (ポプラ社)

おれは、とうもろこしぬぐぞうだ。いまからぜーんぶぬぐぞう。それ！ ぱりぱり べりべり ぺりぺり べろーん。やったー！ ぜんぶぬげた。

まよなかのトイレ

『まよなかのトイレ』 まるやまあやこ 作（福音館書店）



まるやまあやこ さく

ひろこちゃん、まっくらなろうかをとおって、トイレにいけるかな？わたしのしっぽにつかまって…とねこのみいこ、かみをとってあげる…とうさぎさん、なにかわすれているよ…とあらいくまさん。みんながひろこちゃんをたすけてくれます。